韓国 デジタルガバンメント戦略 8 月

VE センター

1.背景

・基本データ:大韓民国 Republic of Korea – ジェトロ (jetro.go.jp)

国土: 10 万 413 平方キロメートル (2020 年末、出展:韓国国土交通部「2021 年地籍統計年報」)
北海道より少し大きい。人口は北海道の約 10 倍。

人口: 5,178 万人(2020 年中位推計、出所:統計庁)

人口密度: 529 人/平方キロメートル 17 位(208 ヶ国中) (出展:data.worldbank 2018 年版)

政治体制: 民主共和制、単一民族(韓民族)

言語: 韓国語

一人当たりGDP: 31,637(ドル)(2020 年)

GDP(名目): 1,630,820(100 万ドル)(約 1.6 兆億円)(2020 年)

国連の世界幸福度ランキング 2021 年版: 50 位(95 ヶ国中)

E-Government Development Index(EGDI2020 年): 2 位(193 ヶ国中)

OECD Digital Government Index (DGI): 2019 :1 位(34 ヶ国中)

大韓民国

韓国は朝鮮半島のほぼ南半分を占め、面積は日本の約 4 分の 1 である。 地形は日本に似て山地が多く、国土の約 70%を占める。 第二次大戦の終了とともに 38 度線を境界とする米ソ両軍の進駐により南北分断が始まり、1948 年 8 月に南に大韓民国が、9 月には北に北朝鮮政府がそれぞれ成立した。両国は国連に同時加入するなど国際法上は分断国で、国内法は一つの国という二重の法体制で成り立っている。

2.戦略 1.デジタルガバンメント体制づくり(2015-2020)

紙の行政システムをデジタルの行政システムにし、デジタルデータを構築する。(DX)

Korea e-government master plan 2020

図 1 電子政府(e-Gov)戦略構成

ビジョン:2020 年に市民に楽しいサービスを提供する電子政府(e-Gov)を実現する。

自治体は広域自治団体が 4、基礎自治団体が 5、下部行政単位 11 で構成されている。経済面は 1960 年代前半まで世界最貧国グループにあったが社会インフラを構築し輸出産業が育ち早い経

済発展を遂げた。国内総生産（GDP）で世界 10 位（2021 年時点）となっている。韓国の一人当たり GDP は、2020 年に 4 万 2135（ドル）を記録した。

1. **戦略目的 1　Enhance Digital Experiences**

デジタル・エクスペリエンスの向上を図る。

市民とともに、市民が求めるサービスをより便利にしていく。政府は、市民がいつでも、どこでも、どんなデバイスでも、紙の書類を提出することなく、単一の認証プロセスでオンデマンドサービスにアクセスできるように、政府サービス提供の環境を再設計し、市民が望むサービスを開発することもできるようにする。

戦略目標 1

オール・デジタル、ゼロ・ストップの政府サービスの開発をする。

戦略目標 2

インテリジェント基盤情報で、オンデマンドの公共サービスを推進する。

戦略目標 3

DIY（Do it Yourself）な公共サービスの実現する。

2. **戦略目的 2　New-building intelligent Gov**

認知と予測に基づく新しいインテリジェント政府を構築する。

政府は、インテリジェントな情報をタイムリーに活用し、最適な政策を決定・展開し、リアルタイムの情報共有と連携に基づいてオフィスと現場でシームレスに作業を行い、正確な予測に基づいてエラーなく問題に対応できるように、行政環境を改革して、すべての人にとって有益な、信頼できる政府になる。

戦略目標 1

インテリジェント情報に基づく、行政改革を行う。

戦略目標 2

時間や空間の制約を受けない O2O 行政を実現する。

戦略目標 3

データ中心の政府の基盤を確立する

3 **戦略目的 3　Joining e-Gov. Ecosystem**

インテリジェントな情報技術をまず公共部門に適用してデジタル産業の発展を支援し、産業界と共存する新しい電子政府（e-Gov）のエコシステムを構築する。このエコシステムで、政府と民間企業が生産・配信システムを共有し、未来に向けてデジタルクリエイティブな人材を育成する。

戦略目標 1

公共部門が主導する新しいデジタル産業を開発する。

戦略目標 2

ソーシャル・コラボレーションに基づくシェアリングエコノミーの促進を支援する。

戦略目標 3

将来を見据えたデジタルクリエイティブな人材を育成する。

4 **戦略目的 4　Organizing Trust-based infrastructure**

IoT プラットフォームを構築することで、信頼性が高く安全な未来の電子政府（e-Gov）インフラを確立し、政府と民間企業が創造的に共有し、デジタル手段で新しい課題やリスクに効果的に対処する。

戦略目標 1

ハイパーコネクテッド電子政府（e-Gov）プラットフォームを構築する

戦略目標 2

リスクを察知できるセキュリティインフラを構築する。

戦略目標 3

クラウド型次世代行政情報基盤を構築する。

5 **戦略目的 5　Yes! Korea e-Gov**

これが韓国 e-Gov！

さまざまな国の条件や需要に応じて世界市場を拡大し、先進国と発展途上国のすべての国の利益のために、未来の課題を確定し、革新的な解決を提供して、韓国 e-Gov は、電子政府（e-Gov）の世界的リーダーにふさわしい役割と責任を果たす。

戦略目標 1

グローバル市場をリードし、韓国に適したエコシステムを構築する

戦略目標 2

世界の電子政府（e-Gov）の先駆者としての役割を果たす。

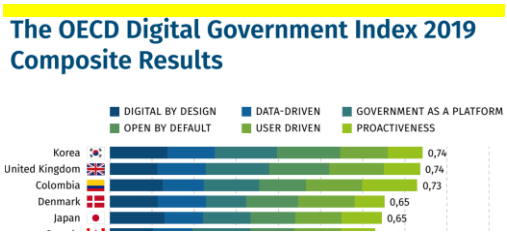
戦略目標 3

電子政府（e-Gov）の主要な輸出国としての地位を確立する

3.　戦略 2：評価：2019

デジタルガバンメントの 6 つの柱の達成度を評価し、ランクを付ける。

OECD Digital Government Index (DGI) 2019　で韓国が世界一になった。



この Korea e-government（electronic government）電子政府 master plan 2020 を作った時は 2014 年前だったが、OECD は 2014.7.15 から Digital Government になった。

4.　戦略 3：オープンガバンメント（2018-2020）

公共分野のデジタルデータをオープンにし、活用を図る。

KOREA'S 4TH NATIONAL ACTION PLAN 2018-2020

第四次国家実施計画は 2017 年 8 月末に市民社会と政府が共に参加する OGP Forum Korea を立ち上げ、市民や市民社会団体が OGP 活動の実施と計画の策定に関与することを奨励した。以下に実施項目を示す。

1. 官民パートナーシップによる汚職防止システムの構築
2. 公演会場の技術情報管理体制の拡充
3. 政策の立案・実行を担当する人の名前や意見を記録・管理するシステムの強化
4. 公募による安全点検システムの導入
5. G2P コミュニケーションを促進するパブリックディプロマシーシステムの構築
6. 参加型民主主義を実現する政府革新市民フォーラム
7. 食品に含まれる有害物質の量の開示
8. 未来の文化・観光産業のためのオープンデータ
9. 民間企業の新産業のための文化遺産資源の公開
10. 公共部門での実用性、需要、価値の高い国家の優先データの開示
11. 国民の声の収集による公共データの品質管理の強化
12. 自主的順守に基づく関税管理システムへの移行

5. 戦略 4:データの AI 利用(2019-2030)

オープンデータで AI を創る。

AI 戦略 2019-2030

ビジョン:

韓国の産業競争力と生活水準の向上し、2030 年までに 455 兆ウォン(約 3890 億米ドル)以上を生み出す。

1. 戦略目的 AI を構築する。

戦略目標 1

公共部門のデータを自由にアクセスできるようにし、官民間のデータマッピングを強化する。

戦略目標 2

新概念の AI 半導体の開発、次世代 AI の研究開発への投資を行う。

戦略目標 3

煩雑な規制を包括的に変換・撤廃して AI に有利な環境を整え、AI を統治するための基本的な法制度を打ち出す。

戦略目標 4

AI 投資ファンドの創設し、AI 専門家との交流・連携を促進する。

2. 戦略目的 AI の活用を図る

戦略目標 1

大学における AI 関連分野・プログラム(専攻)の新設・拡充し、AI 関連の各種プログラムを拡充し、開発する。

戦略目標 2

パブリックデータ(公的機関が保有し、公開可能なもの)をビッグデータプラットフォームで活用して、

全産業での AI の全面的な活用を推し進める

戦略目標 3

デジタルトランスフォーメーションを導入し、市民にカスタマイズされたサービスを提供するデジタルな政府を目指す。

3. 戦略目的 AI との調和を図る

戦略目標 1

新技術分野（AI 構想のためのプログラミングやデータ分析などの関連スキル）の職業訓練の割合を増やすことで、明日の労働力を準備する。

戦略目標 2

AI ベースの技術による新しいタイプの弊害への対応（例：AI によるサイバー侵害、ディープフェイク AI）を構築する

AI 国家戦略では、AI が将来の産業の重要な基盤であることを認識し、データを適切に活用する必要性と重要性を強調しています。個人情報活用の法的根拠を確立する。

6. 戦略 5：5G-デジタル経済推進に向けた通信インフラ（2019-2022）

5G で AI との共生を図る。

5G 戦略（2019-2022）

ビジョン：世界 ICT 分野で今後も主導権を握るために世界初の 5G を開始する。

戦略目的 1.5G ネットワークの全国整備を 2022 年までに完了する。

戦略目標 1. 関連産業の集中育成と 5G 活用サービスの実装を進める政府横断の「5G+戦略」を 2019 年 4 月に発表する。

戦略目標 2 戦略 5 サービスは、2025 年までに政府が民間コンソーシアムを選定する方式で、図 2 のようなサービスを順次計画的に導入する。

実感型コンテンツ	360度eスポーツ中継、K-POP中継連動サイネージ、複数拠点をつなぐホログラム同時ライブコンサート
スマートファクトリー	ロボットAR活用現場管理。2022年までに中小企業の工場1000カ所を5Gスマートファクトリー化
自律走行	シャトルバス、交通弱者向けモビリティサービス、群集走行、精密測位等
スマートシティ	無線監視カメラ活用道路安全サービス全国普及（主要都市の横断歩道に導入）、トンネル・橋梁・建築物等老朽化インフラ監視
ヘルスケア	救急車・現場と病院をつなぐ救急医療システムの実装、延世医療院コンソーシアムが2021年までに構築

図 2 5G 活用戦略 5 サービスの内容

戦略目標 3

「5G+戦略」を通じて公共サービス分野から 5G 導入を図る。教育、農業、医療等の分野で 2020 年から 5G を活用した公共サービスを実装する。

7. 戦略 6：ワクチン戦略（2021-2025）

デジタル戦略の最初の成功事例として総力をあげて新型コロナパンデミックを解決する。

ビジョン：

韓国、新型コロナワクチン大国目指す

戦略目的 1

韓国の文在寅大統領は2025年までに新型コロナウイルスワクチンの世界5大生産国の一つになるために2兆2000億ウォン（19億ドル）を投じる方針を示した。

戦略目的 2

文大統領は、ワクチン生産強化策を検討する官民の委員会で、半導体、電池に加え、新型コロナワクチンを国家戦略技術に位置付けた。

戦略目的 3

文大統領は、ワクチンでドイツ、英国などの国とパートナーシップを締結し、国際協力を拡大したい考えも示した。

戦略目的 4

文大統領は韓国がグローバルワクチンハブになる」ことを G7 に約束した。